

第7回自治推進委員会のまとめ
平成23年7月8日開催

1. 参画と協働の検証方法について

- ・自治推進委員会では、経営戦略会議の議事録がないことやパブコメの市民意見の反映がなされていないことなど、情報共有の基本となることを議論すべきである。【西村委員】
- ・庁内推進会議で参画協働は情報共有を前提とすることを取り上げて欲しい。【西村委員】
- ・参画協働の取組実績は、全体の特徴、問題点、改善点、進んだ点などを分析しその資料を出してもらいたい。情報共有・参画・協働の自己評価は全庁的にやるべきである。【西村委員】
- ・取組実績は、協働の割合を%とかで表すなど進んでいることが見える形で示し、量的ではなく質的チェックができるものが必要。【上野委員長】
- ・自治の基本原則は同じだから、市の「総合計画重点的取り組み・施策評価報告書」と今回の検証は同じ基準で行うべきである。【西村委員】
- ・検証では、全体の傾向、特徴、委員の視点等をまとめるとともに個別への意見もあると良い。【上野委員長】
- ・委員は評価委員ではないので、各課の自己評価をもとに検証し、委員の気付きが検証シートに入っていくことが大事。【上野委員長】
- ・協働の相手方の思いというものも明らかにできないか。【中島久美子委員】
- ・検証は、協働の理念との合致が最重要ポイントであり、目的や情報の共有、役割分担、うまくいった事例のテンプレートとしてわかるように盛り込んでもらいたい。【中島洋一委員】
- ・協働は地域の様々なポテンシャルを見出すことにつなげなければならず、ゆるやかな協働から進めていくといいのではないかと思う。【中島洋一委員】
- ・これまで各課でPIはある程度やってきている。それをこの検証で横断的に広げられたらいいのではないか。【長塩委員】

2. 今後の進め方について

- ・8月8日にAの地域コミュニティ活動3事業、8月31日にBの市民公益活動3事業を検証する。(各委員の意見を踏まえ抽出したAとBの6事業は次頁参照)
- ・Cの市政全般については、8月の2回の中で、各委員の関心がある事業を抽出し、8月31日に選定する。
- ・11月中旬の委員会でCの市政全般を検証し、12月に検証の取りまとめを行い、24年1月の委員会において答申案をまとめる。

3. 「市民参画と協働の推進条例」改正の報告について

- ・区民会議はその趣旨、内容を条例にきちんと明記すべきである。【西村委員】

検証事業一覧（A・Bカテゴリー）

カテゴリー・局	細事業名・コード	担当課	参画の手法	協働の形態	協働の相手方
A 市民生活	まちづくり サポーター 養成・活用経 費 2102	地域づくり推 進課	パブリック ミーティング (市民の皆 さんとの 意見交換 会)	その他	サポーター養成講 座受講者(個人)
A 教育 委員会	学校・地域連 携推進経費 5161	教育委員会学 務課	ホームペ ージ、市政だ より等によ る積極的 な広報活 動	情報提 供・共有、 事業協 力	地域住民(個人)
A 都市 建設	都市基盤河 川維持補修 経費 8503	河川課		協定	島崎繁栄会他1団 体
B 農水 商工	農業後継者 育成経費 7321	農業政策課 (担い手推進 室)	検討委 員会	情報提 供・共有、 事業協 力	熊本市後継者クラ ブ
B 観光文 化交流	文化活動推 進経費 2501	文化振興課 (旧文化国際 課)	ホームペ ージ、市政だ より等によ る積極的 な広報活 動	後援、 共催	熊本県文化協会他 1団体、ふるさとの 夢と文化を育てる 会他78団体
B 健康 福祉	夏休みの障 害児・家族支 援事業 3342	障がい保健福 祉課		事業協 力	熊本歯科技術専門 学校他30数団体